

教育

◆祝！東部校九州中学校駅伝競走大会初出場！

11月9日(金)ふくどみマイルランド公園コース(白石町)で行われた男子第55回・女子第31回佐賀県中学校駅伝競走大会で、男子は東原彦舎東部校が準優勝を、女子は東原彦舎中央校が5位入賞を果たしました。

男子レース(6区間20キ)は、東部校エースの山田基貴さん(9年生)が1区で区間賞の走りを見せて力走、準優勝となりました。1時間7分1秒の好成績で、優勝チームとは51秒の差でした。12月1日に宮崎県西都市で行われる九州大会へ初出場します。みなさんの応援をお願いします。



▲がんばるぞ！と決意を新たにする
東部校駅伝出場メンバー(11月21日壮行会の様子)

◆新しい教育委員の紹介

9月定例市議会での同意を受け、10月12日付で教育委員に峯晋さん(東多久)を任命しました。任期は、2022年10月11日までの4年間はです。



▲峯晋教育委員

問い合わせ 学校教育課 学務指導係 ☎75-2227

今月の論語

君子は和して同ぜず、
小人は同じて和せず

優れた人物は、協調はするが、主体性を失わずむやみに同調しない。つまらない人物は、たやすく同調するが、心から理解し合い親しくなることはない。

今月の帰宅放送は、東原彦舎中央校9年

藤原

祐樹さん

(南多久町)です

教育長コラム

ちょっといい話



「学校に通えるとういこと」

約40年前、重い障害をもつ全員が就学できるようになった。勤務していた施設併設型養護学校に、自宅療養だった多くの子が入学してきた。それまで教育や訓練の機会に恵まれなかった子も多かった。

Mは、知的ハンディに加え股関節異常があり、名前を呼んだら体を弾ませて喜ぶが立てなかった。数か月後、私は施設の訓練士から呼び出された。何とMが私に向かって歩き始めた。5メートル程だっただろうが、辿り着いて喜ぶMを抱きしめた。訓練したら歩くことができたという喜び、一方自宅の座敷の柱に紐で繋がれていた日々へのやるせなさと思うと、私は涙が止まらなかった。

ご家族にいち早くお知らせしたく直ぐに電話した。「歩いたからって何ですか」と思いがけない反応に、障害・家族・学校を深く考えるきっかけをもらった。

教育長 田原 優子

市民文芸

◆掃きゆけば風に従い集まれる
落葉は風にまたも散りゆく
川浪 信子

◆この日頃平凡なれどそこそこに
過ごせる幸を夫とよろこぶ
福島那智子

◆窓をあけ深呼吸する涼風は
秋を知らせて部屋吹きぬける
梶原恵美子

◆あの星に行けば亡き娘に逢えるかな
父さん母さん祖母に会いたい
浦野 嘉恵

◆秋晴れの窯出しの日よ母姉と
妻のやさしさにこまれながら
尾形 節子

◆風の来て光波打つ芒原
武富 律子

◆大風去り満天の星月夜
倉成 皓二

◆鰯雲空を自在に波立たせ
おおやはな

◆吾が暮らし釣瓶落しのごとく過ぎ
富樫 明美

◆杖ついて己はげます刈田径
中嶋 清子

◆もみじ狩名所は車展示場
古賀ちひろ

◆終活は初恋の人会っておく
猪ノ口昭子

◆終活にあの世で呑めぬ酒を呑む
田代まつこ

◆ユニホーム着ると元気になる不思議
大谷 和

◆バルーンに乗って行きたい夢の国
古井のぶこ

— 川柳 《多久市川柳会 互選》 —

俳句 《互選》

短歌 《麦の芽短歌会 互選》